

もっと知ろう！理療科 その4

～様々な教材や補助機器を活用した授業～

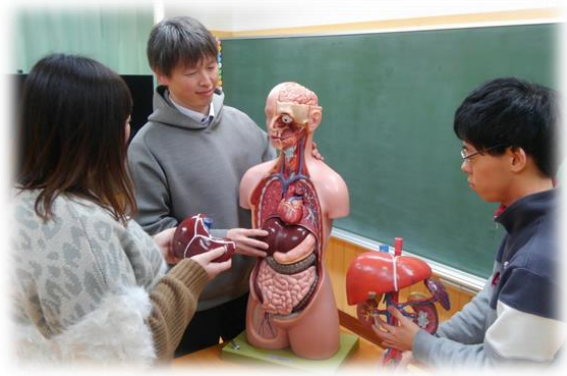
1. 様々な教材の活用

生徒個々の見え方に配慮しながら、触ってわかる模型教材や触察教材など様々な教材を活用し、わかりやすい授業を行っています。

(1) 模型教材の活用（骨格模型・内臓模型）



①解剖学：肩甲骨と肩関節



②解剖学：内臓（消化器）

(2) 触擦を重視した自作教材の開発



①解剖学：伝導路模型



②解剖学：腕神経叢と上肢筋

(3) 自作模型により構造やメカニズム、概念の理解を深める



①解剖学：前腕の関節（構造と作用）



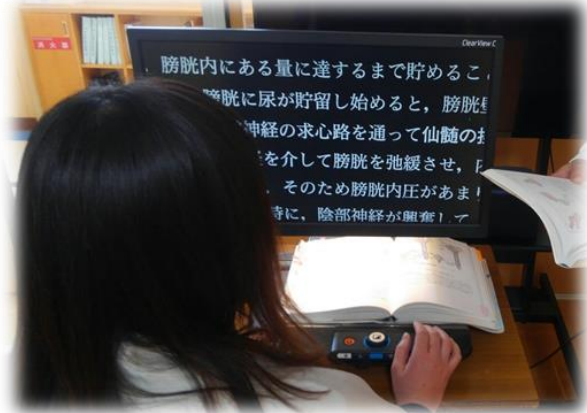
②東洋医学（陰陽虚実の概念モデル）

2. 補助機器の活用

また、見え方に応じて、拡大教科書をはじめ、タブレット端末、拡大読書器、音声教材、電子点字表示器、大型モニターなどのICT機器も有効に活用しています。



①タブレット端末の活用



②拡大読書器



③ブレイル・メモ（電子点字表示器）



④ICT機器の活用
（タブレットとモニターを併用しての指導）

こんなことで困っていませんか？

- ・子供のころから暗い場所が苦手。
- ・教科書の文字が見えない、見えにくい。
- ・視力が弱くて自動車免許が取得できない。

教育相談・入学に関する問い合わせ先



〒960-8002 福島県福島市森合町6-34

福島県立視覚支援学校

（理療科または地域支援センター）

電話：024-534-2574

FAX：024-533-2470

ホームページアドレス <http://fukushima-sb.fcs.ed.jp>

相談専用アドレス sien-gr@fcs.ed.jp

教育相談担当直通電話：080-7347-3908